

令和七年度 農学食科学部 和食文化科学科

学校推薦型選抜 小論文

〔注意〕

- 1 机上に受験票を提示しておくこと。
- 2 監督者の指示があるまで、この冊子を開いてはいけない。
- 3 解答は必ず別紙の解答用紙の指定された箇所記入すること。
- 4 解答用紙に受験番号・氏名を必ず記入すること。
- 5 受験番号・氏名が記載されていない答案は無効となる場合がある。
- 6 この冊子は、問題（四ページ）及び解答用紙（三枚）からなっている。
- 7 この冊子のうち、落丁・乱丁及び印刷不鮮明な箇所があれば、手をあげて申し出ること。
- 8 字数制限のある解答では、改行した際の空白部分、句読点やカッコ、数字はそれぞれ一字として数える。
- 9 満点は一〇〇点である。
- 10 試験時間中の退室は認めない。
- 11 解答用紙は持ち帰ってはいけない。
- 12 問題と下書き用紙は、持ち帰ること。

一

次の文章を読んで、自分が想像する食の未来を説明し、それについての自分の意見を七二〇字以上、八八〇字以内で述べなさい。(五〇点)

(著作権の関係で不掲載)

（著作権の関係で不掲載）

【出典…石川伸一『「食べること」の進化史 培養肉・昆虫食・3Dフードプリンタ』光文社、二〇一九年。

なお、引用にあたり、一部の表記を改めたところがある。】

二

次の文章を読み，以下の問いに日本語で答えなさい。(50 点)

(著作権の関係で不掲載)

【出典：Richard Wilk, “From Wild Weeds to Artisanal Cheese” in Richard Wilk (ed.) *Fast Food/Slow Food, The Cultural Economy of the Global Food System*, AltaMira Press, 2006.
なお，一部改編した。】

注) kin : 親族, Amish : アメリカ合衆国に移民した 18 世紀当時の生活様式を保持する宗教団体, vat : 桶

問 1 著者は, アメリカでは二つの根本的に異なるフードシステムが存在していると述べている。その二つのフードシステムは具体的にどのようなものなのかについて 300 ~ 400 字で説明しなさい。

問 2 問 1 を踏まえて, 日本のフードシステムの現状と課題について, あなたの考えを, 具体的な事例を挙げながら 600 ~ 700 字で述べなさい。